
太陽の詩

小林 太陽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太陽の詩

【Nコード】

N4167B

【作者名】

小林 太陽

【あらすじ】

人間とは？生とは死とは？男女って？そんなことにちょっと関心があるあなたへ贈ってみる太陽の詩。

(前書き)

こちらは小説ではなく、詩となっております。

男と女が見つめあい
からっぽの空の下
丸くなってすわっている
ただっ広い空と
やわらかな土が
ふたりをつつみ
ひとつにしている
ふたりのまん中には
まっ白な光が
まっ白な光が
かがやいていることを
いつまでも
いつまでも
知っている…

ある朝、男の背中をたたく者が来て
おなじ朝、女の耳元でつぶやく者も来て
少し遊ばないかと誘ってくる
少しだけといって誘ってくる
男と女は目と目をそらし
明日、ふたたび戻ってくる約束をし
太陽の見える道を
一人ほほえみ
太陽の見える道を
一人ほほえみ
どこまでも

どこまでも
振り向くことなく
歩き続ける
楽しい歌を歌いながら
ただ歩き続ける

ふと、太陽が沈むことを恐れ
ふと、太陽が沈むことを恐れ
沈まぬうちに
沈まぬうちに
ただただ太陽を追いかけて
ただただ、太陽を追いかけて
走り始める
走り始める

やがて
涙を流し
声をあげ
言葉をはなち
傷つき傷つけ
ただただ
傷つき、傷つけ
くるい始める
くるい始める

とうとう
涙もかれ

声もかれ

言葉も失い

歩くこともままならず

太陽が沈むことだけを

ただただ

ただ、ただ見つめ

血をたれ流し

汚れくさる私を

ただ、ただ

ただ、ただ…

洗い流してくれることだけを願ひ

ただ、ただ

ただ、ただ、…

何かにすがりつく

あのとき、だれが私をさそってくれたのか？

あのとき、だれが私をさそってくれたのか？

私はあの空をにらみつけ

ただ、私はあの空をにらみつけ

涙流れぬ、想いを発し

声にならぬ、想いを、発し

動かぬ、この体を土によせて

太陽が沈む前に

太陽が沈む前に

あなたを想い

あなたを想い

あなたを

あなただけを

あなただけを心から想い

今日、まぶたを閉じる
今日、まぶたを閉じる
あの光のように
あの光のように
あの光のように…

後記

この詩の続きを皆さんで“自由”に考えてみてください。
・・・本当に自由に考えましたか？
それはどんな続きになりましたか？
その続きはたった今の“あなたの現実”です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4167b/>

太陽の詩

2011年10月3日19時02分発行